

筑波大学に自然保護寄附講座を開講

筑波大学大学院人間総合科学研究科(世界遺産専攻・世界文化遺産学専攻)・生命環境科学研究科

筑波大学大学院人間総合科学研究科(世界遺産専攻・世界文化遺産学専攻)および生命環境科学研究科は、個人の篤志家からの寄付により、大学院生を対象とした寄附講座(サーティフィケートプログラム)を、平成26年度から5年間にわたり開講します。この寄附講座では、自然と文化にまたがる学際的な知識と、国際的な経験をもとに、自然保護に関する国際機関や国内機関、国際援助機関等で活躍する人材を育成することを目指しています。

＜自然保護サーティフィケートプログラム＞

対象者：筑波大学大学院人間総合科学研究科世界遺産専攻・世界文化遺産学専攻、生命環境科学研究科に在籍する大学院生から選抜

修了要件：自然保護寄附講座の授業10単位、実習およびインターンシップ5単位合計15単位以上を取得すること

修了証：必要な単位を取得した大学院生には筑波大学より修了証(サーティフィケート)を授与する

授業 (日本語及び英語の授業) (授業名は予定)	自然保護論、地球環境論、保護地域管理論、景観・緑地保全論、自然遺産論、生物多様性論、野生生物管理論、生態系の保全と復元、自然保護法制度、環境影響評価、自然保護教育と環境教育、自然保護行政論、モニタリング調査技術、International Convention, Role of International Organizations and NGOs, International Cooperation, Conservation and Citizens' Participation, Conservation and Sustainability, Access and Benefit Sharing on Genetic Biodiversity 等
実習	陸域フィールド実習、海域フィールド実習、自然遺産実習
インターン	国際自然保護連合(IUCN)、国際協力機構(JICA)等との連携による国際インターン、国内の自然保護の現場での国内インターン
海外留学	筑波大学の協定校への海外留学

＜公開講座・シンポジウム等＞

このほか、自然保護寄附講座では、地方自治体や企業において自然保護、環境問題担当に従事する人が自然保護について学び直す公開講座や、一般向けのシンポジウムを随時、開催する予定です。

筑波大学自然保護寄附講座のプログラム

自然保護サーティフィケートプログラム

対象：筑波大学の大学院生（留学生を含む）

人間総合科学研究科世界遺産専攻・世界文化遺産学専攻、生命環境科学研究科の大学院生から選抜



授業と
プレゼン



フィールド
実習



インターン
海外留学

授業10単位、実習およびインターンシップ5単位、合計15単位以上履修

自然保護寄附講座修了証（サーティフィケート）を授与

国際機関・国内機関・国際援助機関での活躍

公開講座：環境問題に携わる自治体職員、企業社員などの学び直しの場

シンポジウム：自然保護に関する一般向けの公開シンポジウム